

『今までと同じガンバリ方でいいの? : その5』

- くさたべ君 (仕方ない?…仕方ないで片付けていいのか?それしかないの?…)
- 倉橋夫人 私、あの人が何を求めているか、わかるような気がするの。昔みたいに子供達に囲まれてお店がワイワイ、ガヤガヤ。私達も「文房具屋のおじちゃんとおばちゃん」でいたいだけ。もちろん、売上も欲しいけど、本当に欲しいのはそういう触れ合いじゃないかしらって。あら、またグチ言っちゃったわね。くさたべさん、お掃除終わったらお茶にしましょうか。
- くさたべ君 は、はい。(そうか、そういう事か!それなら…。)  
奥さん、いらぬベニヤ板ありませんか?あと、大きな紙とマジックも。
- 倉橋夫人 ベニヤ板なら倉庫にあるわ。紙やマジックならお店にいくらでも。でも何するの?
- くさたべ君 一寸思いついた事があって。ベニヤ板借りますね。お茶は後でいいです。急がなきゃ!  
～倉庫からベニヤ板をひっぱり出したくさたべ。そればかりか、ホコリまみれの古いパチンコ台を見つけてきた。そして、何やらトンテンカンテンと大工仕事を始めたのである。～
- 鬼瓦社長 くさたべ、お前、何やってるんだ?
- くさたべ君 うへえ～!社長!ビックリした～。いるならいるって言って下さいよー。心臓止まるかと思った。
- ハル税理士法人 夏川秋美 何て事言うんですか!。せっかく私が心配して社長に頼んで一緒に来てもらったのに。
- くさたべ君 あれ、秋美ちゃんまでいるの?
- 夏川秋美 ひ、ひどい～。もう、くさたべさんたら、知りません。
- 鬼瓦社長 それより、お前、本当に何してるんだ?
- くさたべ君 祭りの準備をしています。今、始めたところですけど。
- 鬼瓦社長・夏川 まつり～?何だ それ?
- くさたべ君 大学の学祭みたいなもんです。お店の前で、“倉橋文具祭り”をやってみようと思って……。幸い、準備はお金をかけずにやれそうだし。子供達に来てもらって、双六大会とかして、ついでに売上あがったら…って作戦です。
- 夏川秋美 そんな子供だましみたいな考え、うまく行くんですか?期待どころか心配です、私。
- くさたべ君 え?そう?でも相手は子供だし。
- 夏川秋美 今の子供たちって案外大人ですよ。遊びって言っても、ゲームとか。今時、双六大会なんて…。
- 鬼瓦社長 面白い、やってみろ!うまくいくかはわからんし、失敗するかもしれない。  
でも何もしないより、ずっとましだ。会社で手伝えることあるか?
- くさたべ君 本当ですか?社長!ありがとうございます。もしよかったら、3つだけお願いが…。
- 鬼瓦社長 何だ?
- くさたべ君 祭りは2週間ぐらい後にやろうと思うんです。で、一つ目はその日5人ばかり人を出して下さい。二つ目は、法被を貸して下さい。なるべく派手なやつ。  
三つ目はポスター作りたいんです。デザイン部の美樹ちゃんを貸して下さい。
- 鬼瓦社長 わかった、いいぞ。
- 夏川秋美 美樹さんだけ?私はいらぬんですか?くさたべさんなんて、もう嫌いです。